



# 2010年3月期 決算説明会

2010年6月2日



デリカフーズ株式会社  
DELICA FOODS CO.,LTD

(東証2部 コード：3392)

<この資料に関するお問合せ窓口 経営企画部：田井中(03-3858-1037)>



# ハイライト

## 2010年3月期 業績概要

|       |           |            |
|-------|-----------|------------|
| 売上高   | 18,515百万円 | (計画比 0.1%) |
| 営業利益  | 476百万円    | (計画比△2.8%) |
| 経常利益  | 453百万円    | (計画比 0.8%) |
| 当期純利益 | 240百万円    | (計画比△7.7%) |

## 取引別概況

- ・新規顧客を300社以上獲得(対既存稼働取引先5.8%増)
- ・業態別上位5社：ファミリーレストラン、居酒屋、ファストフード、  
弁当・惣菜、食品メーカー・問屋
- ・業態別比率： 外食：84.0% 中食：16.0%
- ・部門別比率： カット野菜：32.8% ホール野菜：53.0%

## トピックス

- ・新工場「東京FSセンター」の稼働開始
- ・アークヒルズで7月からアンテナショップを展開予定
- ・中国市場への進出準備



# 目 次

---

- I. 市場環境
- II. 2010年3月期 業績レビュー
- III. 2011年3月期 業績見通し
- IV. 当社グループ概要

# I. 市場環境



## 経済環境 及び 業界の状況

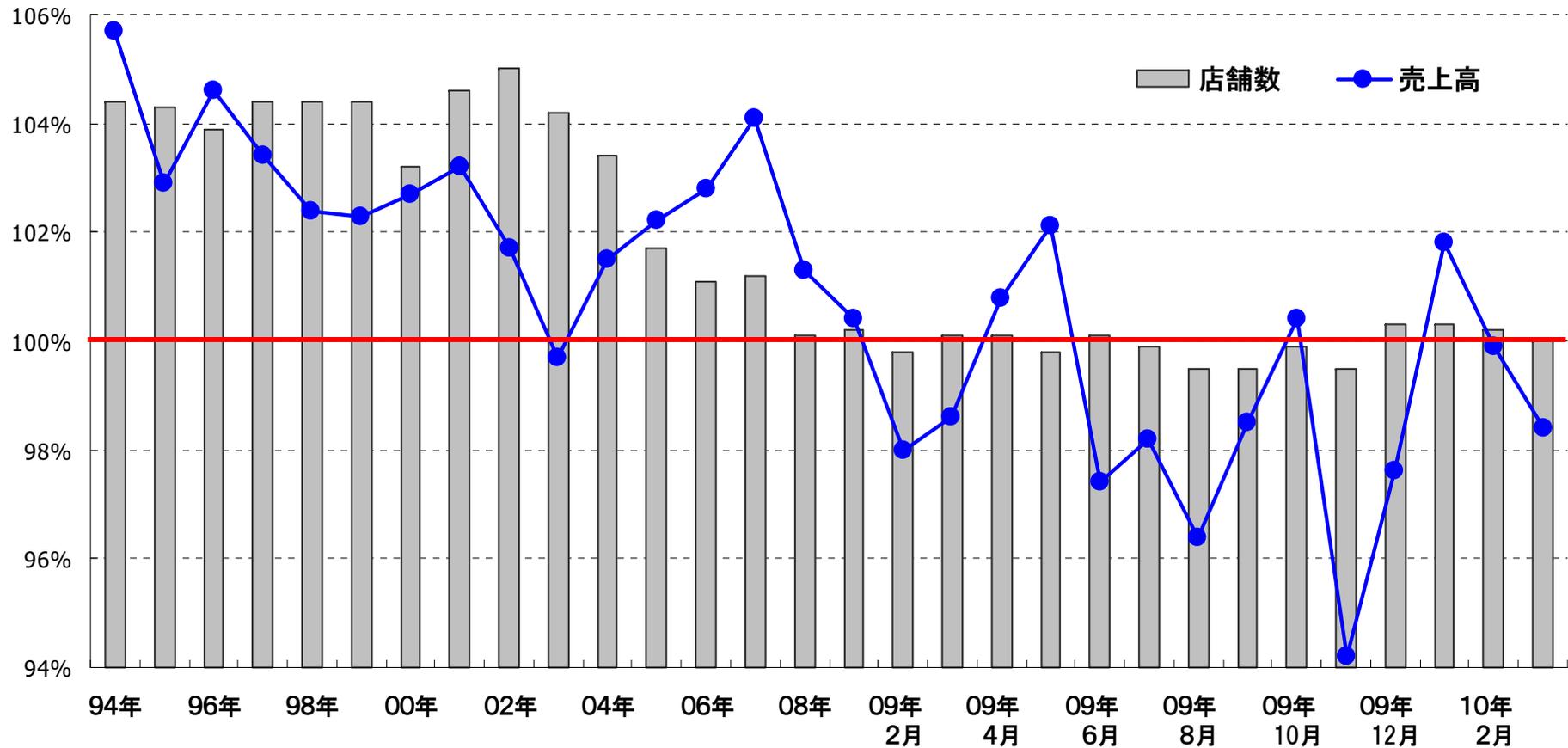
---

- 景気不況感の続く中、個人消費の伸び悩み
- 生活防衛意識の高まりから、外食頻度の低下
- 低価格路線を相次いで進める外食企業

**依然として厳しい経営環境**



# 外食産業(売上高・店舗数の伸び推移)



出所)外食産業総合調査研究センター

## II. 2010年3月期 業績レビュー



## 1. 新規顧客獲得

## 2. 新商品開発

## 3. 新市場開拓



## 当グループの取り組み：新規顧客獲得

- 営業体制の強化
- 多様な規格や24時間受発注体制など、顧客ニーズに合わせた体制
- 野菜塾、展示会、コラボ営業など、当社グループの知名度向上



**新規顧客を300社以上獲得**  
(対既存稼働取引先5.8%増)



## 当グループの取り組み:新商品開発

- **過熱野菜のさらなる進化**

(焼き目付野菜、野菜のキット商品・ペースト商品 など)



- **旬野菜のメニューや新開発商品の提供**

(「FOOD ACTION NIPPONアワード2009」の優秀賞の受賞 など)



**新たな顧客開拓に貢献**



## 当グループの取り組み:新市場開拓

- 「Farm to Wellness倶楽部」の設立
- 野菜のマルシェ（市場）を開催
- 野菜の抗酸化力をキーワードとする商品販売提案



**BtoCへの市場参入**



## 当グループの取り組み：その他

---

- 24時間受発注体制の構築
- 産地との連携効果
- 肥培管理のIT化



**仕入体制および効率の改善  
体質改善を実現**



# 2010年3月期 決算概要<損益計算書>

| (百万円、%)    | 通期     | 前年同期比 | 計画比  | 構成比   | 構成比増減 |
|------------|--------|-------|------|-------|-------|
| 売上高        | 18,515 | △5.1  | +0.1 | 100.0 | —     |
| 売上総利益      | 4,824  | △5.2  | —    | 26.1  | 0.0   |
| 販売費及び一般管理費 | 4,348  | △2.4  | —    | 23.5  | 0.6   |
| 営業利益       | 476    | △24.6 | △2.8 | 2.6   | △0.7  |
| 経常利益       | 453    | △25.7 | +0.8 | 2.4   | △0.7  |
| 当期純利益      | 240    | △30.4 | △7.7 | 1.3   | △0.5  |

## 【売上高】

- ・当初の計画比で、売上高は0.1%と計画通りに推移し、さらに、仕入体制および効率の改善を行い、経常利益は0.8%と計画を上回る結果となりました。

## 【販売費及び一般管理費】

(主な販売費及び一般管理費)

- ・ 運賃：1,565百万円 (2009年3月期：1,636百万円)
- ・ 給与手当：1,252百万円 (2009年3月期：1,252百万円)

## 【特別損失】

- ・ 2011年3月期からの新工場「東京FSセンター」の稼働に伴い、東京デリカフーズ(株)の物流センターの一部及び保木間事務所の閉鎖に備えた費用関連(27百万円)を計上しております。

## 【設備投資等】

- ・ 設備投資額351百万円 減価償却費189百万円



# 2010年3月期 決算概要<貸借対照表>

## 【主な資産】 (百万円、%)

| 科目      | 金額    | 増減額  | 前年同期比    |
|---------|-------|------|----------|
| 流動資産    | 4,485 | +575 | +14.7    |
| 現金及び預金  | 2,448 | +495 | +25.4    |
| 売掛金     | 1,846 | +10  | +0.6     |
| 商品等     | 66    | +6   | +11.0    |
| 固定資産    | 4,666 | +211 | +4.7     |
| 建物及び構築物 | 1,177 | △60  | △4.9     |
| 土地      | 2,534 | 0    | 0.0      |
| 建設仮勘定   | 269   | +250 | +1,313.4 |
| 資産合計    | 9,151 | +787 | +9.4     |

## 【主な負債・純資産】 (百万円、%)

| 科目       | 金額    | 増減額  | 前年同期比 |
|----------|-------|------|-------|
| 負債       | 5,099 | +619 | +13.8 |
| 短期借入金    | 383   | △30  | △7.4  |
| 未払金      | 537   | +49  | +10.2 |
| 長期借入金    | 2,549 | +574 | +29.1 |
| 純資産の部    | 4,051 | +167 | +4.3  |
| 株主資本     | 4,059 | +167 | +4.3  |
| 評価・換算差額等 | △7    | 0    | +0.0  |
| 負債・純資産合計 | 9,151 | +787 | +9.4  |

### 【流動資産】

- ・現金及び預金

前期と比べ、495,577千円増加しており、主な増加要因は純利益及び借入金によるものです。

### 【固定資産】

- ・建設仮勘定

新工場「東京FSセンター」建設に伴い、前期と比べ増加しております。

### 【負債】

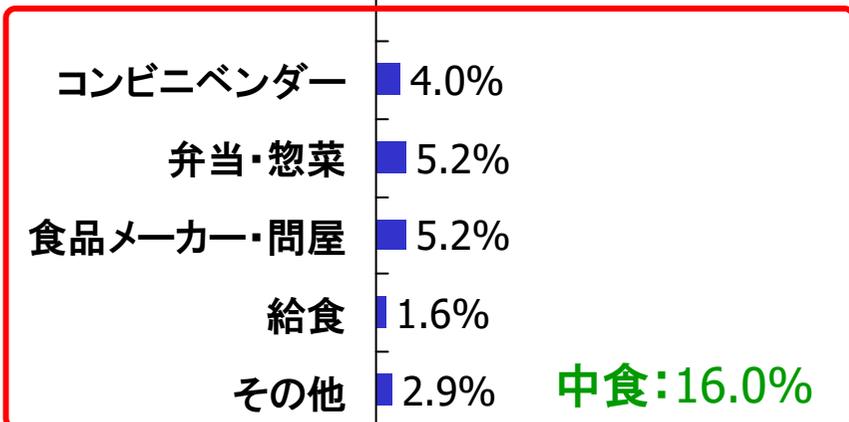
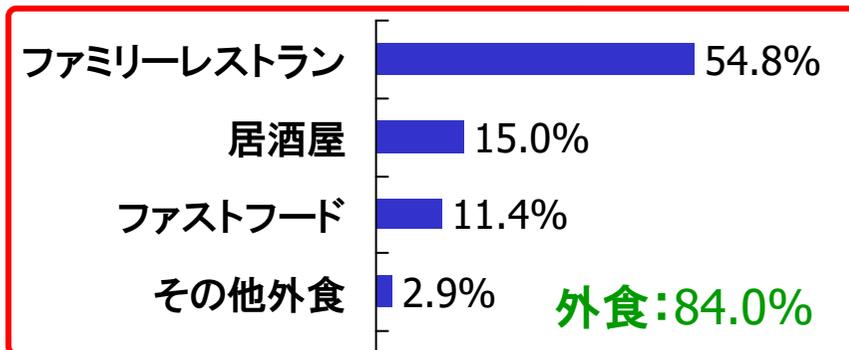
- ・1年内返済予定の長期借入金、長期借入金

新工場「東京FSセンター」建設に伴い、新たな長期借入を実施しております。



# 2010年3月期 取引別概況：業態別・部門別

## 構成比(売上高ベース)



## 部門別構成比(売上高ベース)



## 取引件数

| 2010年3月期   |      |
|------------|------|
| 全体         | 997件 |
| 外食         | 833件 |
| ファミリーレストラン | 678件 |
| 居酒屋        | 61件  |
| ファストフード    | 46件  |
| その他外食      | 48件  |
| 中食         | 164件 |
| コンビニベンダー   | 18件  |
| 弁当・惣菜      | 35件  |
| 食品メーカー・問屋  | 78件  |
| 給食         | 33件  |

「営業体制の強化」「多様な規格や24時間受発注体制など顧客ニーズに合わせた体制」「野菜塾、展示会、コラボ営業などの当社グループの知名度向上」を行い、新規顧客を300社以上を獲得しました。

※「中食」産業は、持ち帰り弁当屋や調理済み食品・惣菜など家庭で食事をするための食品及び食材を販売している産業です。

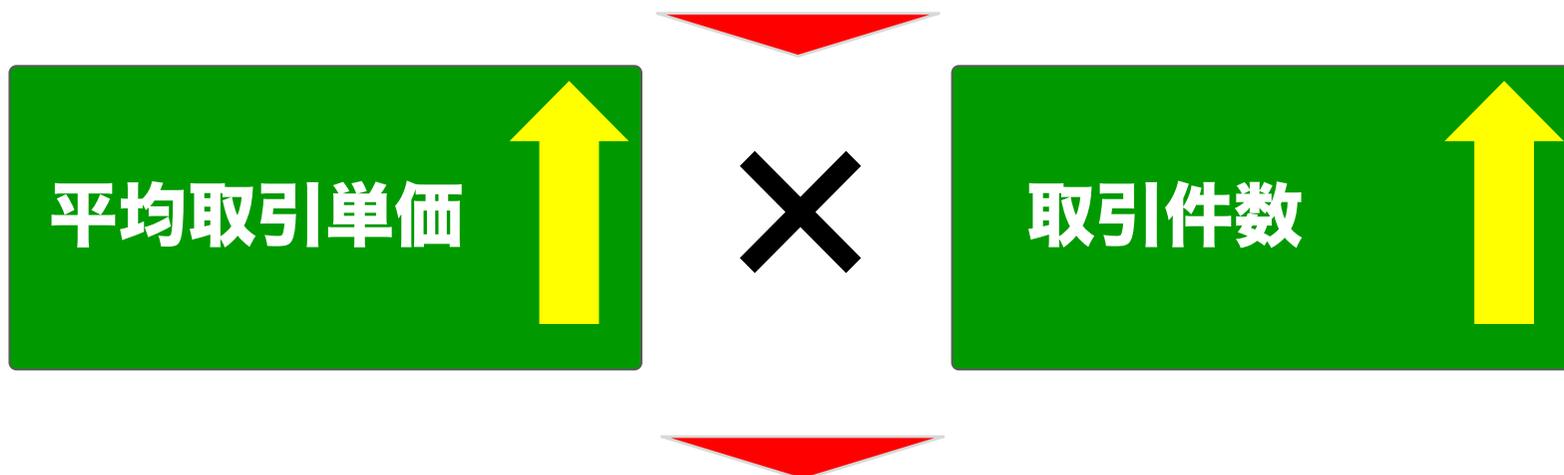
※当社グループは、カットされた状態でお届けする野菜を「カット野菜」、そうでない状態でお届けする野菜を「ホール野菜」と称しております。

### **Ⅲ. 2011年3月期 業績見通し**



# 2011年3月期の経営課題

## 売上拡大と営業力の強化により業績回復に尽力



### 新工場稼働に伴う 売上拡大の実現

- ・ センター化構想によるホール野菜の販売増
- ・ 衛生設備の強化により  
（CVS、給食、医療施設）分野への  
カット野菜の販路拡大
- ・ 物流のIT化による、野菜外物流の拡大

### 営業力の強化

- ・ 顧客満足度アップへの取り組み
- ・ 提案型営業の強化
- ・ 売れる商品の発掘と仕入

### 計画的な仕入の実現

- ・ 契約産地の再開発・拡大
- ・ 市場との連携・提携による、  
産地からの物流・商流再編成
- ・ デリカスコアの本格導入  
（野菜の力を数値化した

当社グループ独自基準)

# 新工場稼働に伴う売上拡大の実現



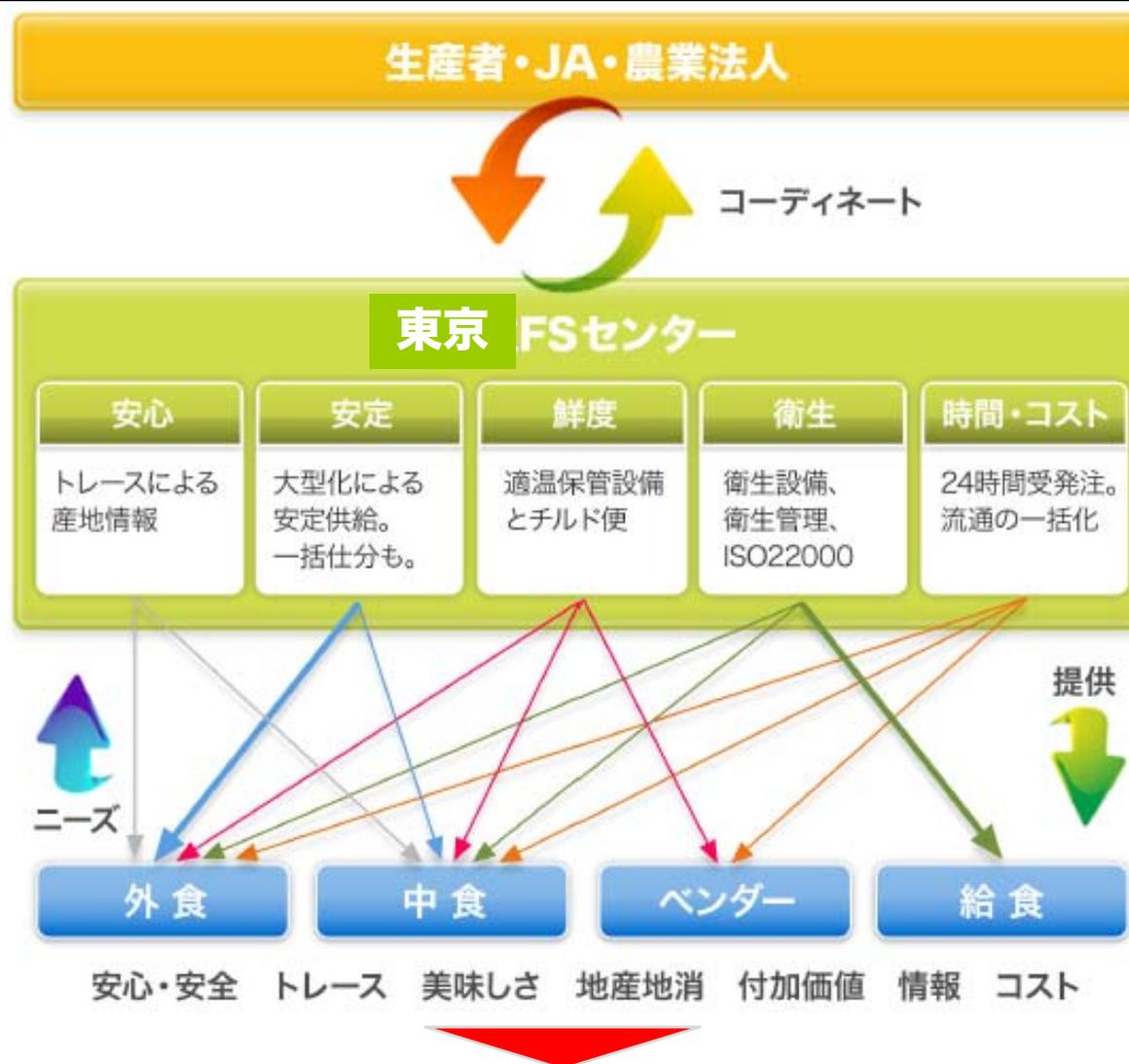
**「東京FSセンター」**  
竣工予定日：平成22年6月  
敷地面積：3,096m<sup>2</sup>  
専有面積：4,440m<sup>2</sup>

- 適温保管設備の充実
- 衛生設備及び管理の向上
- トレーサビリティシステムの導入
- 24時間受発注体制の構築





# 新工場稼働に伴う売上拡大の実現



**販売シェア拡大・販路拡大**



# 営業力の強化

## • 提案型営業の強化

- 香り成分から野菜の成績（抗酸化力など）を測定し、野菜そのものに付加価値をつけて販売
- 野菜をすりつぶさずに、測定を可能とする技術を開発
- アークヒルズで7月からアンテナショップを展開予定

## • 中国市場への進出準備

- 中国では技術・ノウハウが比較的浅い分野
- 当社グループの技術・ノウハウを注入することで、収益性および成長性の高い事業見込
- 中国国内（まずは香港）で、外食レストラン・スーパー等へ鮮度の高いカット野菜の拡販
- 日本への輸出拡大も目指す（特にホール野菜）



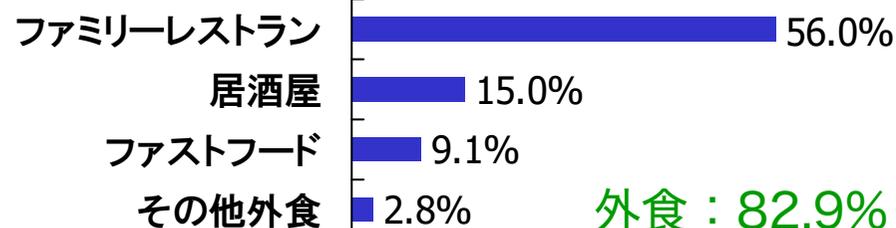
**販売シェア拡大・販路拡大**



# 2011年3月期 決算概要(見通し)

| (百万円、%)    | 通期     | 前年同期比 | 構成比   | 構成比増減 |
|------------|--------|-------|-------|-------|
| 売上高        | 20,000 | +8.0  | 100.0 | -     |
| 売上総利益      | 5,090  | +5.5  | 25.5  | △0.6  |
| 販売費及び一般管理費 | 4,600  | +5.8  | 23.0  | △0.5  |
| 営業利益       | 490    | +2.8  | 2.5   | 0     |
| 経常利益       | 475    | +4.8  | 2.4   | 0     |
| 当期純利益      | 268    | +11.2 | 1.3   | 0     |

## 構成比 (売上高ベース)



## 部門別構成比(売上高ベース)



## IV. 当社グループ概要



# 当社グループの事業概要

## 仕入・加工・物流をワンストップで行う卸売業

### 仕入

契約産地との協力体制により、真の意味での「顔が見える野菜」であり、安全・安心・高品質を約束する青果物を仕入れています。



### 加工

#### 【カット野菜】

店舗ですぐに調理ができる業務用カット野菜で、グループ工場での加工により、各業態のニーズに合った対応が可能です。



#### 【ホール野菜】

加工せずに、そのままの野菜を提供。



### 物流

全国6カ所にある物流センターより、自社のチルド物流にて、新鮮な野菜を、必要なときに必要な量を店舗ごとにお届けしております。



### お客様

主に飲食店

外食：ファミリーレストラン、ファストフード、居酒屋 など

中食：コンビニエント、弁当・惣菜、食品メーカー・問屋、給食 など



# 当社グループ概要

|        |  |
|--------|--|
| 商号     | デリカフーズ株式会社   |
| 本社所在地  | 東京都足立区保木間二丁目29番15号   |
| 決算期    | 3月   |
| 創業     | 1976年10月   |
| 設立     | 2003年4月(持株会社設立)  |
| 株式上場市場 | 東証二部 証券コード3392 (2005年12月：東証二部上場)   |
| 従業員数   | グループ：200人(平均臨時雇用者数738名)※   |
| 資本金    | 7億59百円(連結)※  |
| 売上高    | 185億15百万円(連結)※   |
| 事業内容   | ホール野菜の販売、カット野菜の製造販売 等  |
| 関係会社   | 東京デリカフーズ株式会社<br>名古屋デリカフーズ株式会社<br>大阪デリカフーズ株式会社<br>デザイナーフーズ株式会社<br>株式会社メディカル青果物研究所 |

※2010年3月31日現在

**「デリカフーズは謙虚でハングリーな大根役者」**

**野菜を中心に生産地から消費者までの食を  
コーディネートできる企業として、  
「日本農業の発展」及び「国民の健康増進」  
に貢献してまいります。**



**デリカフーズ株式会社**

DELICA FOODS CO.,LTD

## 当資料取り扱い上の注意点

当資料には将来見通しが含まれております。将来見通しは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。この将来見通しは仮定または仮定に基づく根拠が含まれており、環境によっては想定された事実や根拠は実際の結果とは異なる場合があります。当社または当社の経営者は将来の結果についての期待または確信を述べていますが、その期待や確信、あるいはそれに近い結果が実際に達成されるという保証はありません。

また法令上、別途の定めがある場合を除き、当社はいかなる将来見通しも最新のものとする義務を負っておりません。